

第26期・第4回地球惑星科学委員会IGU分科会ICA小委員会議事要旨

開催日時 2026年6月9日(火) 18:00-20:00

開催場所 遠隔会議

出席者 矢野桂司, 小口高, 伊藤香織, 鈴木康弘, 中谷友樹, 若林芳樹, 飯田洋, ト部
勝彦, 大田暁雄, 熊木洋太, 春山成子, 氷見山幸夫, 森田喬

欠席者 新垣紀子, 石川徹, 渡辺浩平, 藤田秀之, 古橋大地

話題提供・オブザーバ: 加川文子

配布資料

資料 01: 第26期・第3回地球惑星科学委員会IGU分科会ICA小委員会議事要旨

資料 02: Geospatial Information in the United Nations

資料 03-1: 国内対応分科会等の早期設置について

資料 03-2: 第26期ICA小委員会設置提案書

資料 04: Announcing ICC 2027 in Warsaw

資料 05-1: 地学雑誌特集号申請書

資料 05-2: 2025年学術フォーラム発表資料

資料 06-1 ICA Newsletter

資料 06-2 Atlas of Sustainability

資料 06-3 GeoNames Symposium 2026

資料 07-1 見解「地名問題の総合的解決に向けて」

議題等

- (1) 前回議事要旨の確認
- (2) 話題提供: 加川文子氏 (UNIFIL; UN Geospatial)
- (3) 日本学術会議 国内対応分科会等の早期設置について
- (4) ICC2027 ワルシャワ大会・ICA 総会
- (5) 地学雑誌 地球惑星科学の国際連携特集号
- (6) ICA の動静
- (7) その他

(1) 前回議事要旨の確認をした。(資料1)

(2) 加川文子氏 (UNIFIL; UN Geospatial) より「Geospatial Information in the United Nations」(国連における地理空間情報)というタイトルで話題提供をいただいた。活発な質疑や意見交換が行われた。(資料2)

(3) 来期の開始において、法人化への対応等で遅れることなく継続的に活動できるよう、本小委員会も国内対応分科会等として早期設置の手続きをとることとなり、その想定

日程や書類の準備等について説明があった。今後、必要に応じて委員の意見照会をし、提出書類は委員長一任とすることが確認された。(資料 3-1, 3-2)

- (4) 2027 年 ICC と ICA 総会がワルシャワで開催されることが決定されたとの報告。対応するための事項の頭出しを行った。若手の参加や日本からのコミッションチェア等の役職就任を増やす重要性が再確認された。(資料 4)
- (5) 地学雑誌 地球惑星科学の国際連携特集号の企画の説明があった。2025 年の学術フォーラムをベースにしており、ICA についても寄稿が要請されており、伊藤委員長が単独で対応するのか複数名で共著にするのか早急に検討する。(資料 5-1, 5-2)
- (6) ICA の動静について、直近のニュースレターの内容を中心に紹介があった。AsiaCarto などのリージョナルカンファレンスについて開催地の募集が行われたが、2026 年については日本から立候補しないことになった。2026 年 10 月にオーストリア・ヘルマゴルにて ICA-IGU 地名コミッションが共催する地名に関するシンポジウムが開催される。(資料 6-1, 6-2, 6-3)
- (7) その他：地名・UNGEGN 小委員会が属する、地域情報分科会から見解「地名問題の総合的解決に向けて」が発出された。(資料 7)

以上